えべつ 市議会だより

令和8年11月1日発行
No.167
発行　江別市議会
江別市高砂町6番地
電話(011)381-1051
編集　議会広報広聴委員会
印刷　江別印刷業協同組合



【関連記事11ページ】

◇特集　ようこそ江別市へ！　P 2～3
◇令和8年第3回定例会の概要　P 4～5
◇14人が登壇　一般質問　P 6～10
◇特集　市民と議会の集い開催報告　P11
◇特集 Tシャツのイラスト作者にインタビュー　P11
◇活動状況をお知らせ　委員会のページ　P12

次期定例会の開催予定

●第4回定例会　11月26日～12月14日
●各委員会　11月27日～12月3日
●一般質問　12月7日～12月9日

※日程は予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会ホームページ https://www.city.ebetsu.hokkaido. jp/site/gikai/

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。

江別市議会ホームページ

江別市議会フェイスブック

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。
また、ホームページに音声データをアップしております。

詳細 障がい福祉課障がい福祉係☎(011)381-1031

ようこそ江別市へ！



全国各地の議員の皆様が行政視察に来てくださいました

様々な行政課題を解決するため、先進的な取組を行っている自治体を訪問して調査研究を行うのが「行政視察」です。

江別市議会では、令和８年４月から９月までの間に、全国から16自治体の議会の行政視察を受入れました。江別市の取組にご注目いただきありがとうございました。

行政視察　来訪団体・視察項目　（令和８年度上半期受入れ分）

1	東京都昭島市 5月12日	移住・定住促進の取組
2	福島県須賀川市 5月18日	生涯健康プラットフォーム推進事業
3	佐賀県鳥栖市 5月19日	生涯健康プラットフォーム推進事業
4	千葉県習志野市 7月3日	市営住宅長寿命化計画
5	長野県安曇野市 7月3日	子育てひろば　ぽこあぽこ
6	福島県福島市 7月6日	都市と農村の交流センター　えみくる
7	静岡県浜松市 7月8日	子育てひろば　ぽこあぽこ
8	福岡県北九州市 7月10日	子育てひろば　ぽこあぽこ
9	栃木県那須塩原市 7月13日	都市と農村の交流センター　えみくる
10	東京都文京区 7月14日	地球温暖化の取組
11	千葉県習志野市 7月22日	ファミリーサポートセンター
12	茨城県石岡市 7月27日	かわまちづくり事業
13	宮城県石巻市 7月28日	子育てひろば　ぽこあぽこ
14	大阪府豊中市 8月18日	子育てひろば　ぽこあぽこ
15	神奈川県横浜市 8月19日	駅周辺のまちづくりと子育て世代誘導
16	熊本県荒尾市 8月20日	子育てひろば　ぽこあぽこ



行政視察の様子を一部ご紹介します

子育てひろば ぽこあぽこは、視察先の人気№１です。



宮城県石巻市議会の皆様




大阪府豊中市議会の皆様

都市と農村の交流センター えみくるでは、江別市の食と農の魅力を発信しています。



栃木県那須塩原市議会の皆様



東京都昭島市議会の皆様



千葉県習志野市議会の皆様

江別市の移住・定住促進に向けた取組に関して、多くのご質問をいただきました。

ファミリーサポートセンター事業の説明にはアドバイザーも同席し、現場の様子を伝えることができました。



茨城県石岡市議会の皆様

副議長が歓迎の挨拶「ようこそ江別市へ！」

これからも江別市の特色ある取組を全国に発信し、行政視察での情報共有や意見交換を生かして、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

令和8年 第3回 定例会

第3回定例会は9月1日から9月16日まで16日間の会期で開かれました。

■議案7件（令和8年度一般会計補正予算など）
■意見書案9件
■決議案1件
■陳情4件
■報告10件
■認定8件（閉会中継続審査）

主な議案の内容についてお知らせします。

PICKUP 新庁舎建設がいよいよ始動！令和10年度の完成を目指して！

※詳細は［臨時会］欄

条例

◎市役所の位置を定める条例の一部改正

市役所の位置を本庁舎建設工事に係る建設地に定めるため、現在の高砂町6番地から向ヶ丘26番地の1に改めるもので、本議案は、議長を含む出席議員の3分の2以上の同意が必要な特別多数議決による採決の結果、全員一致により原案のとおり可決されました。

予算

◎一般会計補正予算（第2号）

国の予算措置に伴う物価高騰対策への措置のほか、国・道の予算動向による変更等の措置等として、指定ごみ袋製作における原材料価格高騰への対応等に要する委託費、介護施設等に対する支援金などにより、3億4千9万7千円を増額し、予算総額は621億9千675万1千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

陳情

■採択となった陳情

◎日本政府に「非核三原則」の堅持を求める意見書を提出することを求めることについて

憲法九条を考える集い実行委員会
代表　三島徳三氏

◎自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職・地域活用の促進を求めることについて

自衛隊・自衛官の地位向上を目指す市民の会
代表　紙屋秀隆氏

■趣旨採択となった陳情

◎高齢者の交通費助成を求めることについて

高齢者の交通費助成を求める江別の会
代表　八重崎道子氏

◎合併処理浄化槽の普及拡大を図るため公共浄化槽として取り扱うことについて

江別ホタルの会
会長　西脇昭夫氏

決議

◎プーチン・ロシア大統領の北方領土訪問に抗議する決議

8月13日、ロシアのプーチン大統領が、歴史的にも国際法上も我が国固有の領土である北方領土の択捉島を訪問し、あたかも自国のように振る舞う行為は、北方領土に関する日本の一貫した立場と相入れません。

この行為は、望郷の念を抱く元島民をはじめ、道民や日本国民の感情を深く傷つけるものであり、断じて容認することはできません。

よって、議会として、北方領土の一日も早い返還を強く求めるとともに、今回の訪問は、ロシアによる占拠の現状を誇示し、固定化を図るかのような行為であることから、強く抗議することを決議したものです。

議案・議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。

令和8年第2回臨時会（8月5日）

新庁舎の建設工事請負契約を締結するため、第2回臨時会が開催されました。

議案の内容は次のとおりです。

◎本庁舎建設工事請負契約の締結について

老朽化が進み、耐震性能が不足する本庁舎など7つの庁舎を集約した新庁舎を建設しようとするもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

なお、本庁舎建設工事は、令和8年度から令和10年度までの3か年で施工される予定です。

そのほか第3回定例会に提出された議案

件　名	議決結果
認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	原案可決（全員一致）
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決（全員一致）
国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員一致）
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員一致）
介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全員一致）
令和7年度一般会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度国民健康保険特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度後期高齢者医療特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度介護保険特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度基本財産基金運用特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度水道事業会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度下水道事業会計の決算認定	閉会中継続審査
令和7年度病院事業会計の決算認定	閉会中継続審査
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	原案可決（全員一致）
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	原案可決（全員一致）
防災庁発足を見据えた地方公共団体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書	原案可決（全員一致）
夏休み中の子供の貧困対策及び緊急セーフティーネットの強化を求める意見書	原案可決（全員一致）
化学物質過敏症に関する対策の強化を求める意見書	原案可決（全員一致）
中小企業の経営を支えるための緊急対策を求める意見書	原案可決（全員一致）
米国産生食用ジャガイモの輸入解禁に反対する意見書	原案可決（全員一致）
非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決（多　数）
自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書	原案可決（多　数）
専決処分（交通事故に係る損害賠償額の決定）	報告済
一般会計の継続費精算報告	報告済
健全化判断比率の報告	報告済
水道事業会計資金不足比率の報告	報告済
下水道事業会計資金不足比率の報告	報告済
病院事業会計資金不足比率の報告	報告済



議員が市政をただす

一般質問

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。
※二次元コードを読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。



政和会
芳賀（はが） 理己（まさみ） 議員

病気の予防や重症化防止につながる歯科健診の積極的な周知を

質問 **歯科健診の受診促進に向けた周知をどのように行っているか。**

答弁 市では、各世代に対し、健診の個別通知や広報えべつなどを通じて意識啓発を図っており、特に受診率が低い20代から50代をターゲットとして市の公式ラインなどのSNSを活用し、受診勧奨に取り組んでいる。

市民一人一人が定期的に歯科健診を受診することは、健康寿命の延伸に寄与するものと認識していることから、引き続き、様々な媒体を活用した積極的な周知に努めたい。

歯科健診の受診率向上のための仕組みづくりを

質問 **定期的な歯科健診の受診に結びつけるためには、どのような仕組みづくりが必要と考えるか。**

答弁 働く世代が早期に健診を受けることによって、早期発見・早期治療が促進され、健康寿命の延伸や生活の質の向上につながるものと考えている。

今後は、受診者を増やすため、ライフスタイルに合わせた健診が可能であることを知ってもらう必要性があることから、夜間や土日診療を行う歯科医療機関の情報提供を充実させるなど、受診を促進させるための仕組みづくりに努めたい。





民主・市民の会
千場（ほしば） 芳子（よしこ） 議員

個人の飲用井戸の設置者へ、PFOSとPFOAの水質検査の周知を

質問 **個人の飲用井戸にも水質の自主検査が推奨されているため、検査項目にPFOSとPFOAが追加されたことを設置者に個別で周知すべきでは。**

答弁 市内には27基の飲用井戸があり、その適切な管理について、市ホームページや市広報誌で周知している。

今年4月の法令改正により、人の健康に影響を及ぼす可能性が指摘されているPFOSとPFOAが新たに水質基準の検査項目に追加されたことについては、市ホームページで情報提供するとともに、設置者に対して個別に知らせることも検討していきたい。

※PFOS、PFOA・・難分解性、高蓄積性などの性質を持つ有機フッ素化合物の一種

道とラピダス社の連絡会議のホームページ等での公開を道に求めては

質問 **連絡会議の内容について、情報公開請求をしなくても道民が広く知ることができるよう、ホームページ等で公開することを道に求めるべきでは。**

答弁 道とラピダス社の連絡会議では、事業の進捗状況や千歳川のPFAS調査結果等についての情報共有や意見交換が行われている。会議の内容は非公開であるが、安全・安心な水道水の安定供給に支障が生じないよう、今後も丁寧な説明と透明性の確保などを求めていきたい。

※PFAS・・フッ素結合を持つ人工化合物の総称

このほか、水害対策について、小・中学校の女子トイレに生理用品を常備することについて、学校給食における民設民営方式の導入について、学校給食用食器について質問がありました。





公明党
三吉（みよし） 芳枝（よしえ） 議員

情報図書館分館の利用環境と職員の勤務環境の改善を

質問 **既に実施した暑さ対策による利用環境や勤務環境の改善度合いと今後の課題は。**

答弁 各分館では、セルフ貸出機を設置し、カウンターでの待ち時間短縮を図ったほか、今年度はスポットクーラー等を1台ずつ設置した。また、各分館の職員に対し、適宜、館内の涼しい場所で休息を取るなどの配慮をすることで、一定の効果があったと考えている。

今後は、夏期における雨天時の温度・湿度の上昇に伴う図書資料の適正な保存対策に加え、利用者の視点に立った対策が必要になると考えている。

利用者や職員が長時間過ごす場所を優先し、図書館分館の冷房設備の整備を

質問 **情報図書館分館の利用者や職員が長時間過ごす場所を優先して、冷房を設置する考えはあるか。**

答弁 市教委では、図書資料の適正な保存対策のほか、館内の暑熱対策など、利用者の視点に立った対策が必要と考えている。

現在、小中学校のエアコン整備を進めていることから、まずは、今後、小中学校で余剰となることが見込まれるスポットクーラーなどの冷房備品の増設等を進めた上で、各分館それぞれのさらなる暑熱対策の必要性について判断していきたい。





日本共産党議員団
吉本（よしもと） 和子（かずこ） 議員

重度心身障がい(児)者の日常生活用具早急に基準額の引上げを

質問 **物価高騰の影響を受けて、重度心身障がい(児)者の日常生活用具の見積り価格が上昇していることから、早急に基準額の引上げを検討するべきでは。**

答弁 物価高騰に伴い、人工内耳用電池などの見積り価格が基準額を上回っていることは把握している。

現在、中東地域での武力衝突の影響による原油価格や原材料費の高騰に加えて、円安の進行などにより物価が不安定な状況であることから、引き続き、価格推移を注視しながら、他の自治体の状況も調査した上で、検討していきたい。

小規模修繕等契約希望者登録制度利用拡大に向けた周知を

質問 **市内経済活性化に有効な小規模修繕等契約希望者登録制度の利用拡大に向けて、単に制度内容の周知のみではなく、十分に伝わるよう工夫しては。**

答弁 市では、小規模修繕等契約希望者登録制度について、市広報誌や市ホームページのほか、商工会議所を通じて周知を図っている。また、毎月の実績などを庁内に周知し、制度の積極的な活用を発注担当課に促している。

引き続き、事業者が機会を失うことのないよう、制度の周知内容の充実に努めていきたい。



このほか、公共交通について質問がありました。



えべつ地域創生の会
本間（ほんま） 憲一（けんいち） 議員

市民会館の在り方についての検討状況は

質問 **建て替えを行う場合の規模、事業手法、財源等と利用団体等の意見を踏まえた市民会館の在り方は。**

答弁 市民会館に求める機能について、庁内調査の結果や利用団体からの聞き取りでは、収容人数が千人規模の大ホールと収容人数250人規模の小ホールは必要との意見を頂いた。

今後も厳しさが続くものと見込まれている財政状況を見極めつつ、文化ホールなど社会教育施設としての整備も含め、必要な機能や民間資金の活用など、施設の在り方について総合的に検討を進めていきたい。

新庁舎建設がスタート現庁舎の周辺土地利活用の検討を

質問 **令和11年度までに更地となる予定の現庁舎周辺土地の利活用について検討状況は。**

答弁 現庁舎周辺土地の利活用については、市民会館の在り方と並行して検討するに当たり、建設地、必要な機能や規模、事業手法、財源確保などの重要な検討項目が多々あることから、まずは市民会館の今後の方向性を固めることが必要と考えている。

今後は、新庁舎の国道12号からの視認性や動線も考慮する中で、人が集い、地域の新たな賑わいを生み出すような跡地の利活用を検討していきたい。





えべつ地域創生の会
岡（おか）　英彦（ひでひこ）　議員

類似団体と比較した江別市の歳出の特徴は

質問　**人口規模や産業構造などが類似する団体と比較して、江別市の歳出にはどのような特徴があるのか。**

答弁　令和6年度決算における市民1人当たりの歳出総額は、類似団体と大きな差はなく約50万円である。内訳の比較では、衛生費や土木費は類似団体平均を上回る一方、総務費や民生費、教育費は下回っている。

主な要因としては、衛生費ではごみ処理施設延命化工事や病院事業会計への繰出金が挙げられ、土木費や性質別の維持補修費では、降雪地域にのみ必要となる除排雪経費などが影響している。

市立病院が採用する医師どのような点を重視しているのか

質問　**これまでの病院事業管理者の発言からは、単に医師の数を増やすだけではなく、別の意図を感じるが、医師の採用に当たり何を重視しているのか。**

答弁　多職種連携によるチーム医療を進め、断らない医療を実践するには、積極的に意思疎通を図り、他を思いやり、尊重し、協調できる資質を持つ医師が求められる。

医師としての技量が優れていることは、安心・安全な医療にとって不可欠であり、医師の数も大切であるが、資質はより重視されるべきものと考える。





民主・市民の会
内山（うちやま）　祥弘（よしひろ）　議員

江別市としてのカントリーサインの位置づけや認識は

質問　**市内には、どのような道路に何か所設置されており、またその位置づけについての考えは。**

答弁　市内には、国道、道道、高速道路の他市町村との境界14か所に、れんが倉庫と野幌森林公園、北海道百年記念塔をモチーフとしたカントリーサインが設置されている。

市では、カントリーサインは、自動車の運転手などに、他市町村から江別市に入ったことを知ってもらうのと同時に、市の特色をPRする効果が期待できるものと認識している。

子どもの参加する権利を意識してカントリーサインのデザインの公募を

質問　**時代の変化に合わせたカントリーサインのデザイン変更についての考えは。**

答弁　当初図案を考案したときから30年以上が経過し、この間に北海道百年記念塔が解体されたほか、市の景観や特産品なども変化してきていることから、デザインの在り方について検討すべき時期に来ていると認識している。

市では、デザインの公募を行った他自治体の事例などを参考に、まずは情報収集に努めたい。





政和会
島田（しまだ）　泰美（やすみ）　議員

災害時に自治会が担う役割は

質問　**今後の自治会の在り方として、災害時にはどのような役割を担うべきと考えているか。**

答弁　大規模な災害時には、市や道、国などの機関による公助の活動には限界があるため、自治会などを中心とした共助の取組は重要である。また、自ら避難することが困難な方を支える避難行動要支援者避難支援制度では、自治会の協力が欠かせないと考えている。

防災対策を推進する上で、自治会が果たす役割は大きいことから、引き続き、訓練や研修会などの必要な支援等を行っていきたい。

AIシステムを活用したデマンド型交通実証運行の検討を

質問　**今後はバスとタクシーの中間的な役割を果たす乗り合い運行が主流になると考えるが、AIシステムを活用したデマンド型交通の実証運行を検討しては。**

答弁　国のガイドラインでは、デマンド型交通の導入は事業採算性への確保等が条件であることから、当市の市街地では実施していない。また、江北、角山、豊幌地区で始めているデマンド型交通も、地元の意向を踏まえて時刻表と電話での予約としている。

今後、市街地でバス路線が廃止された際には、AIシステムを活用したデマンド型交通の調査研究を進めていきたい。

このほか、大麻駅跨線人道橋架け替え工事について質問がありました。





無所属
髙柳（たかやなぎ） 理紗（りさ） 議員

北海道を取り巻く産業環境の変化を踏まえた企業誘致を

質問 **道内の産業環境の変化が、当市の産業や今後の企業誘致にどのような影響や可能性をもたらすのか。**

答弁 国は、半導体の国内製造を国家戦略と位置づけ、北海道に進出したラピダス社を強力に支援しており、関連企業が相次いで進出している。そのような動きを踏まえ、道内では経済連合会が中心となって今後の事業展開について議論されている。

こうした変化や動きは、北海道への半導体関連の産業集積を加速するものであり、新たな企業誘致の機会をもたらす可能性があるものと認識している。

現在の取組は評価するが、チャンスをつかむためにもう一歩踏み込んだ準備を

質問 **電力や通信環境を含めた立地条件や情報を事前に整理し、企業へ迅速に提案すべきでは。**

答弁 企業誘致に活用できる用地の情報については、関係機関などと連携を取り、情報収集に努めている。

令和6年から、活用の可能性が高いRTNパークの道路幅員や排水許容量の調査を行った結果、汚水管を整備したほか、インフラなどの基礎的な情報を整理した。企業が求める条件は様々であることから、今後も関係機関と連携し、個別相談に対して適切に対応していきたい。





えべつ地域創生の会
猪股（いのまた） 美香（みか） 議員

ごみ収集時における火災発生状況は

質問 **環境クリーンセンターやごみ収集車での火災発生状況と、その現状に対する市の認識は。**

答弁 リチウムイオン蓄電池等に起因するごみ収集時の火災が全国的に多発しており、市でも、令和5年度からの3年間で、環境クリーンセンターでは164件、ごみ収集車では2件の火災が発生している。

火災によるごみ処理の停滞は、市民生活に重大な影響を及ぼすことから、引き続き、火災事故の防止に向けて、リチウムイオン蓄電池等を適正に排出してもらうための周知啓発に取り組んでいきたい。

環境クリーンセンター火災発生時にかかる復旧費用の財源は

質問 **環境クリーンセンターで大規模火災が発生した場合、施設の復旧費用をどの財源で賄い、将来的な財政負担や市政への影響をどのように考えるか。**

答弁 大規模火災による環境クリーンセンターの復旧費用は、国の交付金には該当せず、火災保険等の補償費を除いた費用が市の負担となる。

将来的な財政負担や市政への影響は、修繕の程度などにより異なるため想定できないが、北斗市にあるクリーンおしまで発生した火災と同規模の火災の場合には、少なからず影響が出るものと考える。





民主・市民の会
佐々木（ささき） 聖子（せいこ） 議員

当事者の声を聴き、重度心身障がい（児）者日常生活用具給付基準額の引上げを

質問 **物価高騰が続く中、重度心身障がい（児）者の日常生活用具のうち、見積り額が基準額を上回っている約2割の品目だけでも、基準額を引き上げては。**

答弁 現在、中東地域での武力衝突の影響による原油価格や原材料費等の高騰、円安の進行などにより、物価が不安定な状況であるため、約2割の品目についても、価格推移を注視するとともに、他の自治体の状況を調査しているところである。

引き続き、調査結果や当事者団体の意見も参考にしながら、見直しの必要性を精査して対応していきたい。

多文化共生推進指針の策定を

質問 **多文化共生社会を推進するためには指針の策定が必要と考えるが、在住外国人の割合がどのくらいまで高くなれば策定に向けて検討するのか。**

答弁 市は、総合計画の中で、多様性を認め合う社会意識の醸成や在住外国人への情報提供の充実を具体的施策に位置づけ、各種施策を進めている。

こうした取組を通じて、市民がお互いを理解し合う意識の醸成を進める中で、国や道、他市の動向も注視しながら、引き続き、総合計画に基づいて共生社会の実現に向けた施策を進めていきたい。





公明党
長田（おさだ）　旭輝（てるき）　議員

災害時の人的応援の受入れを円滑にするため、受援シートの整備を

質問　**道や他自治体等に人的応援の要請をする際に、必要な人数と業務をどう示していくか。**

答弁　外部への応援要請時には、発災後に対応可能な職員数が変化することも踏まえ、どの業務にどの程度の人的支援が必要かを明確にする必要がある。

受援体制の構築には、人的支援の受入れを円滑にし、その実効性を確保するための事前準備を進めることが重要であることから、受援シートの活用などを含め、国の手引き等を参考としながら、受援計画の策定に向けて検討を進めたい。

まずは受援シミュレーションを実践し、より市の実情に合った計画の策定を

質問　**受援計画の策定前に他自治体の計画などを参考として訓練を行い、その結果を基に計画の策定を検討することについて、どう考えるか。**

答弁　受援訓練は、大規模災害により被災自治体だけでは対応できない状況で、外部からの応援を受け入れるための体制や手段を確認するものと認識している。

そのため、応援を要請する業務の内容や規模などを整理した上で、進める必要があることから、まずは受援計画を策定し、その計画に基づいて、具体的な手法などを検討していきたい。



※モルック・・フィンランドの伝統的なキイッカというゲームを基に開発されたスポーツ



公明党
石川（いしかわ）　麻美（あさみ）　議員

法改正を踏まえ、頼れる身寄りがいない高齢者等へ必要な支援を

質問　**法改正により支援対象が広がる中、頼れる身寄りがいない高齢者等に対する支援の充実が必要では。**

答弁　令和8年6月に、社会福祉法等の一部が改正され、包括的な支援体制の強化策の一つとして、頼れる身寄りがいない高齢者等への支援の充実が盛り込まれ、福祉サービスの利用援助や金銭管理などのほか、入院・入所手続や死後事務の支援を、資力に応じて無料または低料金で利用できるようになった。

この改正は、まだ施行前であることから、今後、国の通知を確認した上で、適切に対応していきたい。

全国的にキャンプ場利用者が減少傾向　森林キャンプ場の運営の方向性は

質問　**これまでの取組を踏まえた現状と課題の認識や、今後の利用促進に向けた施設運営の方向性は。**

答弁　開設以来、多くの利用者から憩いの場として親しまれ、おおむね高評価をいただいている一方、気象条件や野生動物の対策に加え、施設の老朽化に伴う計画的な整備が今後の課題と認識している。

また、モルック等の玩具の貸出しをはじめとした新たな取組も展開している。

市教委では、今後も静寂と自然という価値を大切に、きめ細やかなサービスの提供に努めたいと考えている。





政和会
野村（のむら）　和宏（かずひろ）　議員

郷土愛教育の基本的な考え方は

質問　**小中学校での郷土愛を育む教育をどのように位置づけ、どのような子どもの姿を目指しているか。**

答弁　子どもたちが郷土を愛する態度を身につけることは、教育基本法や学校教育法で目標の一つとして規定され、学習指導要領では、主に道徳や社会科で取り扱うこととされている。

市教委では、郷土愛の育成は、法令などに基づいて取り組む重要な教育の一つとして位置づけており、子どもたちが心豊かにたくましく生き抜いていく力を身につけるために、必要な教育であると考えている。

ふるさと江別とのつながりを大切にできるような教育の充実を

質問　**子どもたちが江別に愛着と誇りを持ち、将来どこに住んでもふるさととのつながりを大切にできるよう、今後の教育をどのように充実させるのか。**

答弁　令和6年度に策定した江別市子どもが主役のまち宣言や、今年度から開始した地域学校協働活動推進事業の取組は、地域で郷土愛を育成するための機運をさらに高めていくものと考えている。

今後も、実践的な学びに取り組むとともに、子どもたちが江別で育ったことを生涯の誇りとし、心でつながり続けられるよう、郷土愛の育成に努めていきたい。



出張します！市民と議会の集い 8月～10月までの開催報告

開催日：8月10日（月）
会場：ぷらっと
団体名：江別子ども
　　ネットワーク
参加人数：4名
参加議員人数：3名





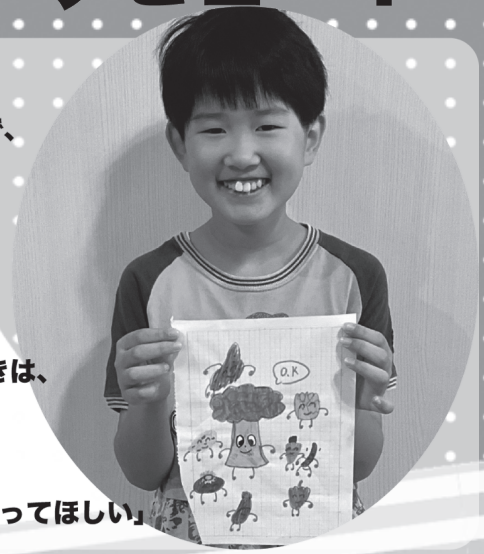




開催日：10月13日（火）
会場：野幌公民館
団体名：全日本年金者組合
　　江別支部
参加人数：11名
参加議員人数：4名

市民と議会の集いTシャツのイラスト作者にインタビュー！

イラストの作者である大麻泉小3年生の福田 実笑子さんにおはなしを聞いていきました！実笑子さんは小さい頃から、絵を描くのが大好きで、よく描いていたそうです。
ブロッコリーが好きで、特にブロッコリーのから揚げが好きとのこと！



Q 絵のどんなところがポイント？
A「野菜が笑っているところ（笑顔のところ）」
Q 今回描いた絵が、市議会Tシャツのイラストになることを聞いたときは、どんな気持ちだった？
A「びっくりして、うれしかった」
「Tシャツになるのが楽しみ。絵を見てもらえるように、もっと広がってほしい」

実笑子さん ありがとうございました！

もっと身近に、もっと気軽に、皆さんと意見を交わせる集いの場をぜひご利用ください！ 皆さんの声をお聴かせください！

開催報告 HP



議会運営委員会・議会改革検討小委員会
委員会をさらに傍聴しやすく！

前号でお伝えしたように、委員会に関して傍聴規則を改正し、傍聴者が委員会室に随時入室できるようになりました。

これまでは、委員会開会時に遅れた場合、次の休憩まで入室できませんでしたが、いつでも入室できるようになりました。

また、水分を取るなど必要なときにはいつでも退室でき、再度入室することもできます。

委員会傍聴の際には、事務局で手続をして傍聴証を受け取り、首からかけていただくことになりますので、御協力願います。

総務文教常任委員会
公募型プロポーザルの再公募開始

５月３１日付けで中止となった旧江別小学校跡地の利活用に係る公募型プロポーザルについて、募集要項の事業スキームを定期借地ではなく売却という形に変更して再公募するとの報告を受けました。

また、中学生の学校給食の民設民営化方式導入は当初の計画では令和１０年４月からの導入予定でしたが、実施に向けての課題が判明したことから、要求水準書案に対する技術的な助言をいただくなど、コンサルティング事業者を活用するため、導入時期を令和１１年４月からに変更したとの報告を受けました。

民生福祉常任委員会
救急相談＃7119の利用開始

急な病気やけがなど、救急車の利用で判断に迷った際、２４時間３６５日、看護師に電話で相談できる「救急安心センターさっぽろ（＃７１１９）」が、令和８年１０月１日午前０時から利用開始となることについて報告があり、あわせて、連携サービスの緊急度判定サポートツールについても説明を受けました。

また、政策形成サイクルの取組として、市立病院と意見交換を行ったほか、出張します！市民と議会の集いで寄せられた市民意見について内容を確認しました。

生活産業常任委員会
農村地域の課題を調査・審査

７月２３日に市内農作物の生育状況調査を行いました。農業者から生育状況や営農上の課題などを伺い、その結果を第３回定例会初日に委員長から報告しました。

また、付託された陳情「合併処理浄化槽の普及拡大を図るため公共浄化槽として取り扱うことについて」は、陳情者からの陳述を受けた後に、担当部局から制度や現状、財政負担などの説明を受け、審査した結果、全員一致で趣旨採択とすべきものと決しました。

議会広報広聴委員会
議会を身近に！

市民の皆様に議会をより身近に感じていただくために、江別市の特産品の一つであるブロッコリーをモチーフとしたロゴ入りＴシャツを議会広報広聴委員会として作製しました。

今後、市民と議会の集いなど皆様と接する機会に活用していきます。

また、子どもに関する取組については、先進自治体の事例を参考に、現在も行っている議会見学を生かしつつ、子どもたちに議会の役割や仕組みを知ってもらう取組となるようにさらなる検討を進めていきます。

江別市議会広報広聴委員会　◎委員長　稲守 耕司　○副委員長　石川 麻美
●委員　岡 英彦、島田 泰美、高橋 典子、高間 専逸、芳賀 理己、三吉 芳枝、吉田 美幸

●この市議会だよりは再生紙を使用しています。